

■概要

1. グローバルな視点でのオープンイノベーションの促進と国際展開を図り、国際競争力強化に貢献

経済・社会のグローバル化に伴い、情報通信技術の研究開発とその成果展開という観点においても、これまで以上に国際戦略が重要視されてきている。

グローバル推進部門では、NICTの研究開発活動における国際連携、研究開発成果の国際的展開を推進し、グローバルな視点でのオープンイノベーションの促進を通じて、我が国の情報通信技術分野における国際競争力の強化に貢献している。

2. グローバル推進部門の構成

当部門の業務は、次の2室及び海外の3連携センターにより実施しており、その業務概要は以下のとおり。

(1) 国際連携推進室

外国為替及び外国貿易法（外為法）に基づく安全保障輸出管理業務、インターンシップ研修員受入等人材交流、海外連携センターを通じた海外のICT分野の研究開発動向や世界的な技術トレンド、ICT政策等についての調査・情報収集

(2) 国際研究連携展開室

NICTと諸外国の関連研究機関との国際共同研究・研究協力の推進、研究協力覚書（MOU）の締結、複数の研究所等が関わるワークショップ及び国際会議の主催あるいは共催、NICTの研究開発成果の国際展開、グローバルな視点でのオープンイノベーションを目指す国際共同研究プロジェクトの創出

(3) 海外連携センター（アジア連携センター、北米連携センター、欧州連携センター）

各地域における研究開発等に係る情報の収集、研究連携のための企画、推進、支援及び関係機関との連絡調整

■主な記事

1. 国際的な研究協力の推進

欧州宇宙機関（ESA）、南パリ国立電気通信学院（TSP）（フランス）等13の国や地域の17機関との覚書を取り交わし（新規10件、更新5件）、国際的な研究連携を推進するとともに、NICTの研究成果の国際展開に積極的に

取り組んだ。

2. 東南アジアとの連携推進と国際共同研究プロジェクトの推進

ASEAN域内の研究機関・大学等と共同で平成27年2月に設立したバーチャルな研究連携組織「ASEAN IVO（ICT Virtual Organization of ASEAN Institutes and NICT）」をASEAN全10か国の52機関の体制に拡大するとともに、平成28年度から実施している国際共同研究プロジェクトの第3弾（6件）を開始した。さらに、共同研究チームの形成等を目的とするASEAN IVO Forum 2018（11月、インドネシア）において、第4弾の課題選定とプロジェクト形成を行った。

3. 米国との国際共同研究の推進

米国国立科学財団（National Science Foundation：NSF）との間で実施している共同研究プログラムについて、ネットワーク領域を対象とする第3弾（JUNO 2）及び計算論的神経科学領域を対象とする第4弾（CRCNS）をそれぞれ9月に開始した。

4. 欧州との国際共同研究の推進

平成23年の日欧ICT政策対話を機に開始した日欧共同研究プロジェクトについて、第7回日欧国際共同研究シンポジウムを欧州委員会、総務省と共催し（12月、オーストリア）、開始済みプロジェクトの進捗状況の共有及びICT分野の将来課題の議論を行い、将来の方向性を取りまとめるとともに、第3弾プロジェクトのレビューを実施した。

5. 国際セミナーの開催、国際展示会への出展

NICTの研究開発成果の国際展開に向け、日独デジタル産業ワイヤレスフォーラム（6月、ドイツ）やASEAN IVO Forum 2018（11月、インドネシア）などNICT自らによる国際セミナーを開催するほか、GCTC（Global City Teams Challenge）Tech Jam 2018（6月、米国）やRSAカンファレンス2019（3月、米国）、タイ科学技術博覧会（8月、タイ）など国際展示会への出展等を積極的に行った。

6. 国際的な人材交流

12機関から15名のインターンシップ研修員をNICTの各研究所等に受け入れた。また、日本語研修の開催や各種資料の英語化など、海外からの研究者支援を行った。

7. 安全保障輸出管理関連業務

安全保障輸出管理審査会を開催し、MOU等で提供予定の技術及び締結相手先機関について審査を行い、締結の可否等を確認した。

8. 海外連携センターの活動

海外連携センターにおいては、北米、欧州、アジアにおけるICT技術動向等に関する情報を収集・分析し、NICTの内部関係者に対しフィードバックを行った。また、平成30年度は、上記5.の国際セミナーの開催や国際展示会への出展に関して海外連携センターが中心的な役割を担うほか、在英日本大使館・日本政府観光局（JNTO）共催の訪日観光イベント（11月、英国）においてVoiceTraに関する展示を行うなど、NICTの研究開発についての情報発信、NICTと海外の機関との研究交流や連携の促進に取り組んだ。